
動き出した時計

龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

動き出した時計

【Nコード】

N0235A

【作者名】

龍

【あらすじ】

新一は灰原のお蔭で元に戻り、蘭に告白した、新一。そして、二人は幸せに……。幸せのストーリーです。不幸の無い、ストーリーなので、面白いです。

奇跡 新一編 (前書き)

「工藤くん、これ、貴方が欲しがっていた物よ、受取りなさい。」
灰原の声がオレの耳に響いた。灰原のクールで少し低い声が優しい感じがした。

オレは、彼女（灰原）の手からパイカルを受取った。オレは、急いで水を用意した。

コップには、綺麗な透明の水が入っていた。オレは、目を閉じてパイカルを飲んだ。

急に頭がクラクラしてきた。オレは気を失って倒れてしまった。
バタンツッ！

「く、工藤くん、しっかりして！博士、工藤くんをわたしの部屋のベットまで、

運んで！手伝って！！博士！はやく！！」

「わ、わかったわい！！」

目が覚めた、気が付くとオレは灰原の部屋のベットで寝転がっていたのだった。

「新一、気がついたか。急に倒れるからビックリしたんだぞ、新
ー！！」

オレが倒れた？なんでだ？

「新一、でも、あんまり無理するでない、熱があるんじゃない、ぐっすり寝ておるんじゃない！」

オレ、熱あるのか？そーいやあ起きた時から頭が痛い。

「博士、オレ、戻れたのか？戻れてねえのどっちだ？！」

博士は言った。

「戻れておるぞい、ほれ鏡をみるんじゃない。」

奇跡 新一編

「戻れてるのか？」

「一つだけの疑問……。この疑問が頭から離れない……。」

「鏡じゃ、戻れてるのかその鏡と目で確かめるんじゃない……。」

博士にそう言われ、オレは博士が持ってきた鏡で自分を確かめた……。

「オレ……戻れてる……、新一に戻れてる！！！！」

「良かったわね、探偵さん……でもわたしも戻れてるけれどね……。」

オレの後ろに立っていたのは……、宮野志保だった……。灰原哀では、無かったのだ……、オレは目を擦った、オレが本当に戻れているのか、

灰原も元に戻ったのか？という、疑問……、もう一度見ても、オレは工藤新一に、

灰原は、宮野志保に、なっていた……。幻では無かったのだ……。

オレは、電話を掛けた……。蘭に……、コナンの声で……。

「もしもし、蘭ねーちゃん、突然だけど、蘭ねーちゃんにもう会えない……。」

今日突然僕のお父さんが、僕を迎いに来たから……。ばいばい、蘭ねーちゃんのこと、忘れないよ……。」

「うん、分った。さよならコナンくん……。」

そう言って、新一は電話を切った……。

続

奇跡 新一編 (後書き)

龍「どーも、作者の龍です。(女ですから)」

新「お助けマンの新一です・・・」

龍「この話しは、新しくんと、蘭ちゃんを中心にしたお話です」

新「え？オレ・・・？マジかよお！！龍・・・、ありがとな」

龍「いえいえ、気にしないで！！どついたしまして・・・」

新「次回もよろしくな！！二人で言うぞ！！いつせえくのでえく！！」

龍& a m p ;新「真実はいつも一つッ！！！！！！」

新「これ、決め台詞だしな・・・覚えとけよ、龍・・・」

龍「はい、はい、でわまたね！！！！」

新「じゃーな！！！！！！！！」

奇跡 蘭編

もうコナンくんはこの家に居ない……。新一も居ない……。どーしたら良いの？新一……。そのトキだった……。

効果音「プルプルプル」

わたしのケータイに電話が掛かって来た……。誰だろ？そういう気持ちでわたしは、ケータイを見ると、「非通知」と云う字が、目に飛び込んできた……。

「もしもし……」

そういうと、相手は……。

「ああ、蘭か？？オレ、オレ、おめえの幼なじみの工藤新一だ……」

わたしは、急に涙が出た……。止まらなかった……。我慢しいけど、新一の所じゃ出来ないよそんなコト……。

「し、新一……逢いたいよ……。今すぐ逢いたいよ……。」

「逢いたいか？分った、今、蘭の家に向かうから……。待っててくれ!!」

え？新一……。遠くにいるんじゃないの？遠くにいるから、わたしの所に来れるわけ……。

「ピンポーン」

誰だろ？お父さんは、お母さんと今日お出かけだし……。博士も歩美ちゃんや、光彦くん、元太くん、哀ちゃんと、沖縄行ってるし……。服部くんと和葉ちゃんも今日、文化祭……。園子は、別荘でのんびりしてるし……。わたしのコト、他に知ってる人……。居たかなあ？？空けようつと！

誰か知らないけれど……。

「はあ〜い、ドナタですかあ〜？」

出てみると、奇跡のような感じがして来た……。

「し、新一なの？」

新一だった……。奇跡なの？これは、幻……。？夢……。？

「たりめえくだる？蘭……」

声も、身長も、体も……。髪も……。瞳も……。

「蘭、ごめんな……。」

わたしは、返事を返した……。

「良いよ……。別に……。」

新一は、イキナリわたしに、kissキスをした……。わたしは、ドキツと、していた……。

「蘭、2年後に結婚しような!!」

わたしは、当たり前!!って感じで答えた……。

「うん……。」

奇跡 蘭編 (後書き)

急いであるので、在りません!!

最終話〜ふたりの結婚〜

新一は蘭に「結婚して下さい」と言われて、二年がたった……。

「とても、お似合いですわよ、蘭さま……」

「あら、そう？有り難う、あなたは優しいのね、あなたに頼んで正解だったわ」

蘭はドレスを着ている真つ最中です。蘭は二十歳、新一も二十歳です。

「らんー!!」

「園子!!!来てくれたんだ!!あ、真さんも連れて来たんだね」
蘭は新一と付き合い、園子は真と付き合い合っている。

「蘭さん、おめでとうございます、園子さんが「蘭の結婚式なの」と言われましたので、お邪魔させて頂きました。迷惑でしたら、出ていきますが……」

真は相当恥かしがっていた……、顔をあかくして……。
今度は誰が来るだろう？

「蘭ねーさん、おめでとうございます」

元太に光彦、歩美だった、それに……哀も博士もいた……。
次は誰かな??

「蘭!!!おめでとう」

「おとうさん、おかあさん!!」

きつと、次は和葉ちゃんと、服部くんだな……。

「らんちゃん」

「やっぱり!!!!!!!」

「おー、ねえちゃん、ドレス似合ってるで!!!」

「蘭ちゃん、いつもよりすごい大人みたいやあ!!!ええなあ……」

「」

「わざわざ、大阪からありがとうー!!!」

ドアの前で聞き覚えある声が聞こえてきた……。

「ほら、優作から入りなさいよ!!」

「有希子から、入れ!!」

蘭がドアを開けると……。?

「あ、あら蘭ちゃん綺麗で豪華なドレスねえ……」

「あ、蘭くんか?! やつぱり有希子に似てるな……」

蘭は照れて言った。

「あ、ありがとうございます!! 有希子さんに、似ているだなんて冗談言わないで下さいよ!!」

蘭は顔をあかくし、恥かしがっていた……。

効果音「コンコン」

ノックの音だ誰だろ??

「蘭ちゃんおめでと^^」

「アホ子、先に入るなよ」

「何よ!ば快人!!!!」

ちよつと前に、蘭と青子は友達になっていた、快人は新一と前から友達だった……。

「青子ちゃん、快人くん、来てくれたんだね!!!! ありがとうございます
青子&快人「いいんだよ、蘭ちゃん、別に今日、用事無かつたし!
!」

二人は双子のようによく似てる……。

「らーん、ごめんな!! 待たせちまって!!!!」

新一だ……、白い服を着ていて、まるで怪盗キッド、快人くんに似てるな……。

終り!!

蘭がコナンといたトキに作った詩 (新一のコトを考えながら……)

「START」

スタートを切ろう 区切りをつけて
願いと諦めの中をもつ揺るがぬ様に

日が登るからその目開くんじゃない
目覚めたいトキだからこそ その目で太陽を見つける
つついね 受け入れ上手な僕らは
そのままじゃ なかなか美しいモノになれないんだよね
僕ら誰もが 越えて行きたいモノは
与えられる形じゃなく 言葉じゃなく
名付けようのないモノだから

スタートを切ろう とりセットして
次に来る運試チャンスしたい

スタートを切ろう これまでの日から
君と迷う明日でもいい

動き出した時計2に続きます!!! お楽しみに!!! 番外編も出しま
すw

最終話〜ふたりの結婚〜（後書き）

1は終わりましたが、2に続きます、
お楽しみに！！

それに、詩は今の「名探偵コナン」の
オープニングテーマのパクリです。
愛内里菜さん、ここにいる皆さん
そして、管理人さん、副管理人
ごめんなさい（m|m|m）でわー！！
また、会いましょう！！！！！！

番外編〜子供の名前〜

「ねえ、新一……この子の名前どーする？女の子なんだけど……」

新一と蘭は結婚した、そして、その七ヶ月がたち、蘭は女の子を出産した。

「そーだなあー……オレが探偵なんだから……しんじつ 真実と、書いて真実 マミはどーだ??」

やっぱ、そー言うと思いますよね……。

「いいじゃない!!真実 マミ !!可愛いし、カッコイイし!!」

二人は結婚してから一度もケンカをしていない……。ありえない……。高校や中学や小学校や幼稚園の時はヤマホドケンカしてましたし……。

「らーんちゃん、新一君!!」

青子だった、最近この三人は仲良し!!やっぱ、快人は泥棒キッドなので仲間に入っていない……。

「青子ちゃん、来てくれたんだ、ありがとう、それに結婚式の時も薔薇バラ

の花束ありがとう!!」

やっぱこの二人似てる、ホントにアカノ他人か???双子じゃねえのか???

「そんな……でも、おめでとう!!わあ、この子可愛い!!なんて名前なの?」

教えて!!」

すると、新一が言った……。

「オッホンッ!!特別に教えてあげよう!!真実しんじつと書いて真実マミだよ、青子ちゃん」

「わあカッコ良くて可愛い！！やっぱ、新一くんって快人と違って優しくて

カッコ良くて頭良くてスポーツできて！！何でもできるから、蘭ちゃん……

うらやましいな……、うちの快人なんか、手品しかできないんだよ?!?!

新一くと快人……顔……似ているけど、性格とか全然違うし!?!?!」

青子は顔を赤くし、ブンブン怒っていた。そんなに怒ると赤い風船が

できるかもしれないね（笑）

この三人はやっぱなかよし!?!!

終り!?!!

ラストにクイズだよ〜!! 当たった方には賞金10円が当たります（嘘&笑）

クイズ一 この三人の中で一人だけ仲間ハズレがいます。それは誰???

クイズ二 新一は青子の事をなんとよんでいますか？

クイズ三 結婚して何ヶ月後に子供が生まれた？そして、子供の性別は？

クイズ四 子供の名前は？

クイズ五 青子は結婚式の時、新一と蘭に何の花の花束をあげた？？

答え

一の答えは、青子です。理由は最初から、病室にいなかったから（意地悪問題です）

二の答えは、青子ちゃんです。読めば分かります。

三の答えは、七ヶ月後です。ちゃんと読めば分かりますよ。

四の答えは、しんじつ真実と書いて、まこと真実です。

五の答えは、バラ薔薇の花束です。

番外編〜子供の名前〜（後書き）

クイズも付けました・・・。。。。。。。
面白くないと思いますが、よんでくれた方々ありがとうございます
御座います。ツーに続きます、楽しみにしていて下さいね。
でわ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0235a/>

動き出した時計

2010年10月13日15時47分発行